



NTTOBSV 会会報 No. 12

2009年9月21日(月)

Home page : <http://sv.nttob.org/>
e-mail : sv@info.nttob.org

目次

- ◆ [NTT OB SV 会 設立一周年記念及び派遣 SV 激励会開催](#)
- ◆ [JICA,平成 21 年度秋シニア海外ボランティア募集 ー募集要請抜粋](#)
- ◆ [NTT 海外青年協力隊 新隊員壮行会へ参加](#)
- ◆ [現SV活動報告](#)
 プノンペン便り(須山勝彦さん)
- ◆ [「お知らせ」](#)
 - [JICA による 2009 年 SV 秋募集の説明会の日程](#)
 - [本会事務局の担務一部変更](#)

NTT OB SV 会 設立一周年記念及び派遣 SV 激励会開催

去る9月19日(土)に「NTT OB SV 会 設立一周年記念及び派遣 SV 激励」の昼食会が、ジョン万次郎 信濃町店で開催されました。

本会は昨年8月28日に発足し、お陰さまで会も順調に成長し設立一周年を迎えることが出来ました。これも皆様のご支援のお陰と感謝しております。

現在特別顧問1名、顧問5名、幹事12名、会員32名で、その内4名の方が SV として活躍中であり、9月末には鈴木(弘)氏がトンガに赴任されます。加えて70名の応援者がおられます。

激励会は始め宮村特別顧問の挨拶をいただき、鈴木氏の抱負、続いて参加者全員の経験談とはなむけの言葉と、最後に石井顧問の激励がありました。終始和やかな雰囲気でした。9名が参集されました。

鈴木氏の夫人同伴で赴任されます。氏の活躍を祈念いたしますと共に、HP へのブログを期待しております。



NTT OB SV 会 設立一周年記念及び派遣 SV 激励会
(2009.9.19)

JICA、平成21年度秋シニア海外ボランティア募集

募集説明会が近日中に開始

募集期間は10月1日より11月9日までです。これと並行してJICA主催で募集説明会が開催されますが、この説明会は大変参考になりますので、是非参加をお勧めいたします。種々の資料もいただけます。

説明会の日程のうち、関東地域の説明会の日程は本会報の「お知らせ」欄にあります。この説明会は全国で開催されますので、関東以外の開催については、最寄のJICA事務所に問合せください。

尚、要請内容のうち、NTTOB/OGの方が応募するのに相応しいと思われる項目は以下のとおりです。

(「要請一覧」から抜粋、詳細は別途「要請一覧」をご覧ください。)

シニア海外ボランティア、平成21年度秋募集要請（抜粋）

電気通信・情報通信・電気

光ファイバー通信技術(マレーシア)

電気・電子工学(トンガ)

電子工学(チュニジア)

電子工学(カーナ)

オートメーション(ケニア)

職業訓練(電気・電子機器)(ホンジュラス)

電気(パラグライ)

自動制御(パラグライ)

電気技術(シリア)

電気機器(ブータン)

電子通信(ブータン) 他

情報処理・システム

コンピュータ技術(マーシャル)

ネットワークシステム管理・開発(バヌアツ)

グラフィック情報処理(ドミニカ共和国)

システム管理・改善(アルゼンチン)

メンテナンス修理(チュニジア・2名)

コンピュータ技術(ボツワナ)

電子商取引(チュニジア)

データベース管理(ネパール) 他

品質管理

品質・生産性管理(ベトナム・3名)

品質管理(ドミニカ共和国)

TQC(コロンビア)

品質・生産性管理(エクアドル)他

その他

渉外促進(エクアドル)

経営改善管理(メキシコ)

経営管理(パラグライ)

経営管理(ボツワナ)

指導科目にとられない「有資格」他

NTT 海外青年協力隊 新隊員壮行会へ参加

去る9月11日(金)、JICA広尾センター 地球ひろば内カフェ・フロンティアにおいて開催された NTT 海外青年協力隊新隊員(JOCV)壮行会に、お誘いに応じてNTTOBSV会員が11名参加しました。その内NTT現職でJOCV OB/OGが5名含まれております。

現在JOCVとしてNTTから2名のが派遣されており、新たに4名(男子2名、女子2名)が新隊員となります。

会は JICA 小道(しょうじ)参事役の挨拶で始まり、約65名の参加があり、若さが弾けるばかりの盛会でした。

途中で現在タンザニア派遣中の隊員から、携帯電話を介した実況で拡声されたメッセージとスクリーン上へ現地の写真の紹介があり、最後に新隊員の元気溢れる抱負を伺いました。隊員皆様の活躍を心から祈念いたしております。

なお、1966年よりNTTからのVOCV派遣者数は488名に及ぶとのことです。

[Topへ戻る](#)



参加者全員集合



NTTOBSV会会員(一部)とJOCV OG

現 SV 活動報告

プノンペン便り

សំបុត្រភ្នំពេញ

プノンペン便り No.3

2009年8月30日 須山 勝彦



アンコールワットの夜明け



牛やオートバイが引く荷車が行き交う国道

アンコールワットへの道

先日、家族がアンコールワットの観光旅行に来たので、シムリアップまでバスで会いに行った。国道6号線を314Km 5時間半の旅である。プノンペンを出発して暫くは車、バイク、自転車の交通量が多くスピードを出せないが、1時間ほどでコンポンチ



トンレサップ湖の水上家屋。
ベトナム系の漁師が多い。

メコン川の増水のため、道の両側が湿地帯になった景色が暫く続く。国道は土盛りしてあるので所々に橋がかかり水を逃がすようになっている。荷車や家畜も往来する1本道が続く、出発して3時間で

カンボジア人考

5月下旬に電子実験室を調査したところ、10年前に国際機関から供与された実験機材がほとんど使われずに保管されていることが分かり2週間かけて調査・整備した。先生方に使い方を教えるよと声をかけたところ、若い教師2人が乗ってきた。1人は1回来ただけで来なくなったが、もう1人は毎週来てくれた。教師は授業のない時は学校に居る必要はないが、彼は後期の授業が終わる8月初めまで週1回非番の日に来てくれた。彼は電子科で学生に教える傍ら大学の経営学修士コースで学んでおり、特別勉強熱心なのかもしれない。学生の中にも午前中は当校の電子科で学び、午後は別の大学で別の学科を学んでいるもの、働きながら学

ン州に入る。コンポンはマレー語のカンポン＝船着場、チャムはイスラム教徒の意味である。沿道にはモスクが建ち、男性は礼拝用の帽子を被っていた。首都からこんな近くにイスラム教徒が多く住む地域があるとは知らなかった。

中間地点のコンポントムに着く。ここから先は車や人の往来も少なくなり田んぼと牧草地の中を舗装道路が一直線に走る。まだ田植えをしているところもあり、稲の収穫は11月ごろである。

雨季にはメコン川が増水し、その水がトンレサップ湖へ流入し湖の面積が3倍に広がる。現在7割位で11月に最大になるそうだ。

トンレサップ湖はいわゆる氾濫原と表現したらよい景色で、立木が水没し樹冠が水面から出ている。毎年繰り返される自然現象だが、植物や水生生物にとってはかなり厳しい(種の多様性の少ない)環境だと思った。

んでいるものも多い。カンボジアの学校制度は午前、午後、夜間でコースが違っているので、大学の掛け持ちや仕事との掛け持ちも可能だが、それにしても努力家が多い印象を受けた。最近の経済発展により、学歴や資格があると条件の良い職に就ける可能性があるのも皆一生懸命になるのだと思う。

の個人的感覚だが、カンボジアが他国と比べてフラットな(封建的身分制度などに囚われない)社会であるように思う。日本が戦後、それ以前の体制や権威がすべて否定され、皆貧しい状態から経済復興を果たしたように、カンボジアも不幸な内戦ですべてが無くなり、ようやく平和が戻り、皆同じスタートラインに立ち努力しているのではないだろうか？

太陽光発電の技術

電子科チーフの C.S.が「再生エネルギー利用」という科目を教えており、前任のボランティアが太陽電池パネルを買った。太陽光発電はどちらかという電気科の領域で、電気科チーフの M.M が同じ科目を担当しているが理論しか教えていない。2 人は昔からの同僚だが授業で協力するという発想はないようだ。ようやく手に入れた太陽電池パネルを電気科にも貸してやりたいが、前任者の貢献なのでそこまでは言えない。まずは C.S.の実技を支援することから始めた。



K.P.氏と彼の開発したソーラーカー

C.S.に業者を教えて貰い、JICA の活動費で太陽光発電の制御装置を 200 ドルで 2 台買った。1 台は米国製、1 台はカンボジア製でその業者が開

発に関わっているようだった。社長の K.P.はカンボジアで初めてソーラーカーを作った人物で、彼との技術交流を今進めている。K.P.からインバータで正弦波を出力するマイコンのプログラムを知らないかと聞かれたので、前任者が残した機材を使い早速開発した。2週間後に試作機が出来たと彼に連絡したら、翌日飛んできた。校長の許可を貰い、週1回彼と技術交流をすることにした。この技術には当校の先生方も興味を持っているので、学内・学外のいろいろな人が連携するプロジェクトに持っていったら面白い。

日本でインバータというと蛍光灯を高周波で点灯させ、低電力で明るくする技術であるが、電化が進んでいないカンボジアではバッテリー(直流)から交流(AC220V)を発生させるインバータや逆の作用をするバッテリー充電器のローカルニーズがある。カンボジア製のインバータが 20 ドル程度で売られているが出力が滑らかな正弦波でなく角ばった方形波のためテレビの雑音が多い、扇風機が良く回らないという不具合がある。カンボジアで技術開発ができれば、タイヤベトナム製を凌駕できると、夢が膨らむ。

(須山勝彦氏からの「ブノンペン便り(No.1)(No.2)」は、本会 HP に掲載されております。)

[Top へ戻る](#)

「お知らせ」

JICAによる2009年SV秋募集の説明会の日程

JICAによるSV秋募集の関東地域の募集説明会 関東以外の開催については、最寄の JICA 事務所の日程は次表の通りです。

この説明会は全国で開催されます。

都道府県	開催地	開催日	曜日	開会時間	説明会場	案内
栃木	小山	10月12日	(月)	10:30	小山市立生涯学習センター	JR 小山駅西口「ロブレ」6階
栃木	宇都宮	10月31日	(土)	10:30	とちぎ国際交流センター 2階	東武宇都宮駅より徒歩8分、JR宇都宮駅よりバス(県庁前下車徒歩5分)
群馬	高崎	10月3日	(土)	10:30	高崎市役所 17階 172会議室	JR 高崎駅西口より徒歩10分
群馬	前橋	10月18日	(日)	10:30	群馬会館(県庁前)	JR 前橋駅北口よりバス 県庁前下車
埼玉	北与野	10月3日	(土)	14:00	新都心ビジネス交流プラザ 4階会議室 A	JR 埼京線北与野駅より徒歩1分
埼玉	浦和	10月12日	(月)	10:30	コルソ浦和 7階 コルソホール	JR 浦和駅西口より徒歩1分
埼玉	大宮	10月16日	(金)	15:30	大宮ソニックシティビル 4階市民ホール	JR 大宮駅西口より徒歩5分
千葉	千葉	10月4日	(日)	10:30	京葉銀行文化プラザ 6階	JR 千葉駅東口より徒歩3分
千葉	柏	10月5日	(月)	15:30	アミュゼ柏	柏駅東口より徒歩7分
千葉	船橋	10月24日	(土)	10:30	船橋市中央公民館 6階	船橋駅南口より徒歩5分
東京	広尾①	10月3日	(土)	10:30	JICA 地球ひろば 3階講堂	日比谷線広尾駅3番出口より徒歩2分
東京	新宿	10月6日	(火)	18:30	新宿明治安田生命ホール 地下1階	JR 新宿駅西口より徒歩2分
東京	八王子	10月13日	(火)	19:00	八王子市学園都市センター	JR 八王子駅北口前 東急スクエアビル 12階

東京	吉祥寺	10月15日	(木)	19:00	武蔵野公会堂	吉祥寺駅南口より徒歩2分 丸井吉祥寺店東側
東京	広尾②	10月17日	(土)	10:30	JICA 地球ひろば 3階講堂	日比谷線広尾駅3番出口より徒歩2分
東京	後楽園	10月22日	(木)	19:00	文京シビックホール 2階 小ホール	東京メトロ後楽園駅または都営地下鉄春日駅より徒歩3分
東京	広尾②	11月1日	(日)	11:00	JICA 地球ひろば 3階講堂	日比谷線広尾駅3番出口より徒歩2分
新潟	新潟	10月4日	(日)	10:30	新潟県国際交流プラザ (万代島ビル2階)	JR新潟駅より「佐渡汽船」行バス10分 「朱鷺メッセ」下車
新潟	長岡	10月17日	(土)	10:30	長岡市国際交流センター (地球広場)	JR長岡駅大手口より徒歩5分
山梨	甲府①	10月10日	(土)	13:30	甲府駅ビル「エ克蘭」5F サロン・ド・エ克蘭	JR甲府駅より徒歩1分 *協力隊との合同
山梨	甲府②	10月25日	(日)	10:30	山梨県立国際交流センター	JR甲府駅南口よりバス5分(4番乗場) 「飯田二丁目」下車
神奈川県	横浜	10月5日	(月)	18:30	かながわ県民センター 2F ホール	各線 横浜駅西口より徒歩5分
神奈川県	桜木町	10月18日	(日)	10:30	JICA 横浜 体育館	JR桜木町駅徒歩15分、またはみなとみらい線馬車道駅徒歩10分
神奈川県	相模大野	10月27日	(火)	19:00	グリーンホール相模大野・多目的ホール	小田急線相模大野駅北口徒歩4分 伊勢丹裏

本会事務局の担務一部変更

本会の拡大と内容の一層の充実を図るため、文 管理を担当して頂くことになりました。
才豊かな幹事・村上勝臣氏に今後の会報発行と、
入会者及び応援グループの方々の e-mail アドレスの

(文責、加藤 隆)

[Top へ戻る](#)